

# IoT 社会における高周波ミリ波吸収体と ノイズ対策部材の設計と開発

**講師：大越 慎一 氏**

**東京大学 大学院理学系研究科 化学専攻 教授 博士(理学)**

本講演者は、磁気化学に立脚した機能性磁性材料の開発を推進してきた。中でも、イプシロン型-酸化鉄 ( $\epsilon$ -Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>) およびその金属置換体は磁性体最高周波数のミリ波吸収特性を示すことから、超高周波ミリ波吸収磁性材料として注目されている。本セミナーでは、イプシロン型-酸化鉄に関して、磁気特性やミリ波吸収特性について紹介するとともに、イプシロン型-酸化鉄を用いたミリ波吸収部材の開発など、ミリ波吸収体開発の最新動向を紹介する。

**【講師経歴】** 1997年 東京大学先端科学技術研究センター・助手、2000年 同・講師、2003年 同・助教授、2004年 東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻・助教授、2006年 東京大学大学院理学系研究科化学専攻・教授、現在に至る。ダーラム大学(英国)名誉教授、ボルドー大学(仏国)客員教授、パリ大学(仏国)客員教授、パラツキー大学(チェコ)客員教授などを兼任。東京大学大学院理学系研究科化学専攻長・理学部化学科長、東京大学総長補佐、スペクトル化学研究センター長(2013年～現在)、東京大学低温センター長(2017年～現在)、フランス CNRS 国際共同研究所ディレクター(2016年～現在)、東京大学教育研究評議会・評議員(2017年～現在)、東京大学大学院理学系研究科・理学部・副研究科長(2017年～現在)なども務める。

**【活動】** 物理化学に立脚した物質合成研究を推進し、新規な磁気機能性金属錯体、高性能磁性酸化物、光応答型金属酸化物、蓄熱セラミックスなどを報告しており、基礎から応用展開まで見据えた研究を進めている。論文 312 報、解説等 115 報、h-index: 57、特許出願約 175 件。日本学士院学術奨励賞、日本学術振興会賞、日本 IBM 科学賞、市村学術賞、井上学術賞、向井賞などを受賞。

開催日時	2018年4月20日(金) 13:30~16:30	【会場】 ちよだプラットフォームスクウェア ミーティングルーム 5F 502 会議室 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-21
受講料	48,000 円 (税込) ※ 資料代金 * メルマガ登録者 43,000 円 (税込) * アカデミック価格 15,000 円 (税込)	

\*アカデミック価格:学校教育法にて規定された国、地方公共団体、および学校法人格を有する大学、大学院の教員、学生に限りです。

★【メルマガ会員特典】2名以上同時申込で申込者全員メルマガ会員登録をしていただいた場合2人目以降はメルマガ価格の半額です。

★【セミナー対象者】磁性材料、電磁波吸収材料などの材料開発を行う研究者、及びこれらの材料を用いたデバイス・システム等の開発を行う研究者

★【セミナーで得られる知識】①磁性材料の基礎からその応用技術や課題、②ミリ波吸収磁性材料開発における指針およびその最新動向、③ミリ波吸収磁性材料を用いたミリ波吸収部材の開発、④高速無線通信技術に関する最新動向

## 【本セミナーのプログラム】

※適宜休憩が入ります。

1 磁性材料の基礎	3.1 磁性体における電磁波吸収メカニズム
2 高性能ハードフェライト; イプシロン型-酸化鉄	3.2 ミリ波吸収特性の測定方法
2.1 材料開発のコンセプト、合成方法	3.3 イプシロン型-酸化鉄のミリ波吸収特性
2.2 磁気特性などの基礎物性	3.4 イプシロン型-酸化鉄を用いたミリ波吸収部材開発
3 高周波ミリ波吸収特性	4 おわりに

弊社記入欄		セミナー申込書	
セミナー名		IoT 社会における高周波ミリ波吸収体とノイズ対策部材の設計と開発	
所定の事項にご記入下さい メルマガ会員、 登録希望の場合は○↓	会社名(団体名)	TEL:	
	住所 〒	FAX:	
		E-mail:	
会員登録済み	新規登録希望	部署	役職
お支払方法		銀行振込・その他	氏名
		お支払予定	2018年 月 日頃

■申込方法: セミナー申込書にご記入の上 FAX または E-mail (re@cmcre.com) でお申し込みください。

■セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりません、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

■申込先: ㈱シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町 2-7 TEL 03-3293-7053

■本セミナーの関連情報は、弊社HPでもご覧になれます。⇒ <http://www.cmcre.com>

参加申込 FAX 番号  
**03-3291-5789**